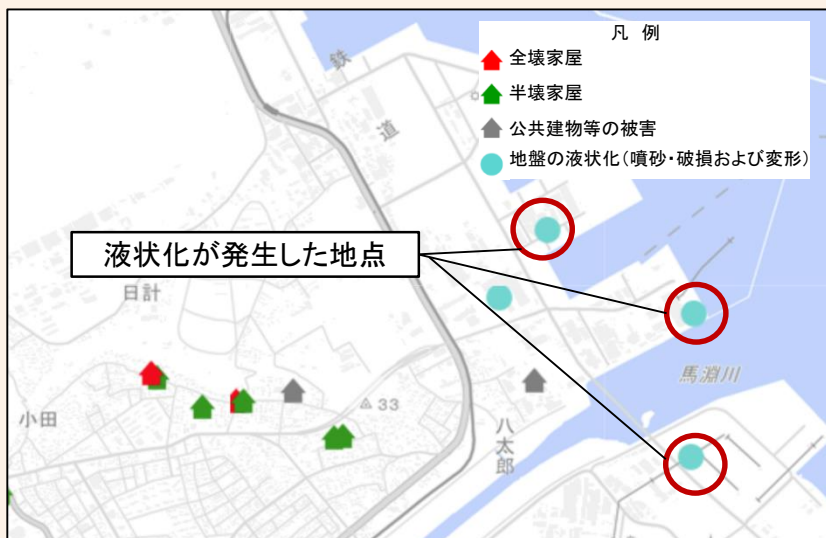


三陸はるか沖地震による地盤の液状化



災害状況図



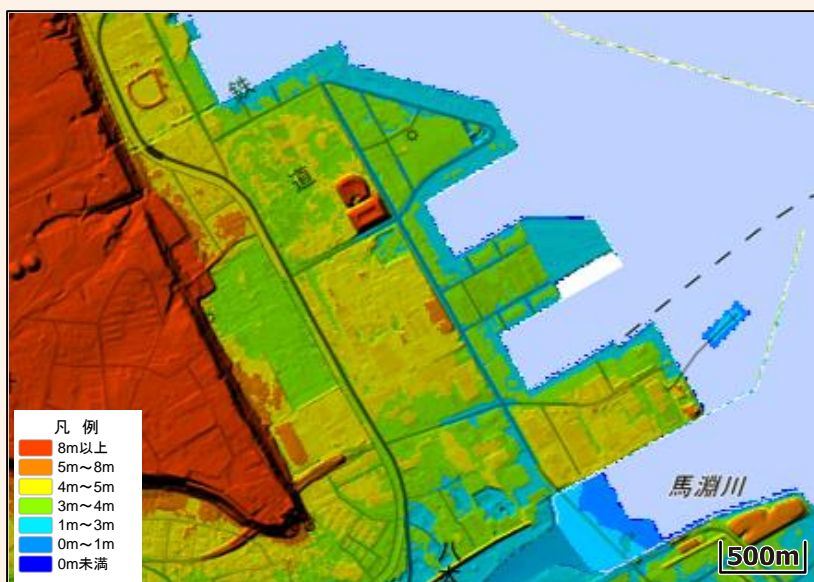
1994年12月28日21時19分に、三陸沖の海域を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、地震のゆれで八戸港の埋立地の一部で、地盤の液状化が発生したんだ。

埋立地では、大規模な液状化・流動化で岸壁が海側へ移動して砂が海中に流出し、護岸の内側には大きな陥没ができたよ。

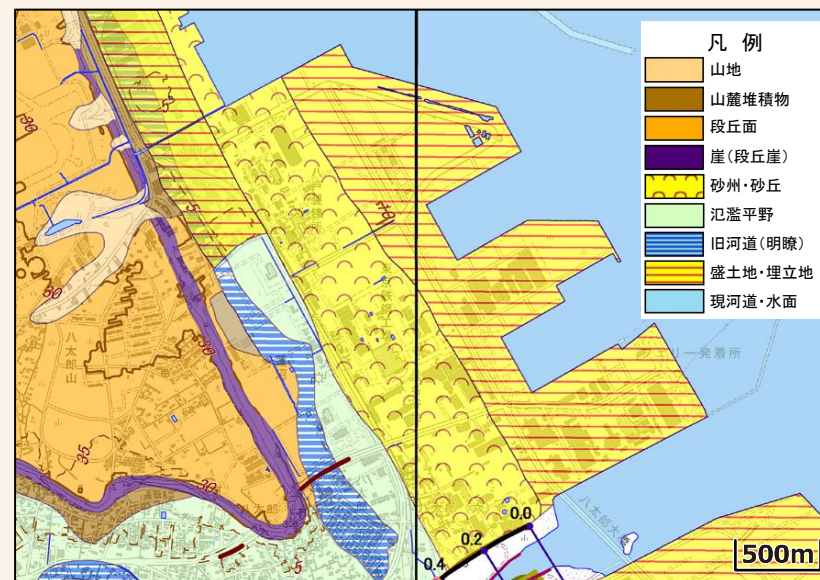
海を埋め立てた地形は、全体に地下水位が高くやわらかいので液状化しやすいんだよ。



色別標高図



治水地形分類図



三陸はるか沖地震による地盤の液状化



災害状況図



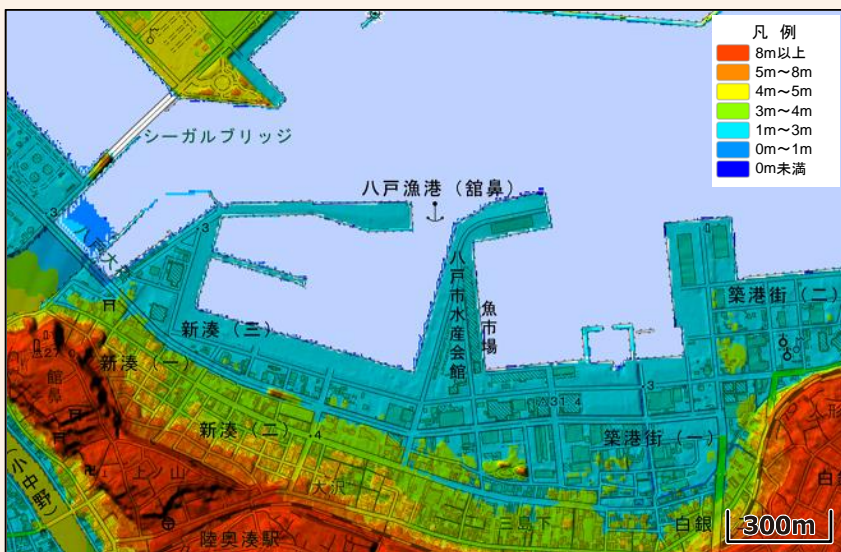
港湾の埋立地は、土地が低くて柔らかいうえに、周りを海で囲まれているから、地下水位も高く地震のゆれが大きいと液状化しやすいところが多いんだ。

液状化が発生すると、地面から地下水や砂が噴き出したり、地下に埋まっていたマンホールや水道などの管も浮き上がって、水が使えなくなることもあるから、地震のゆれが収まっても安心できないよ。

食料や水など日常の生活に必要なものは、日ごろから備蓄しておくことも忘れないようにね。



色別標高図



治水地形分類図

